

2025年12月期 第2四半期（中間期） 決算説明

株式会社ビジョン

証券コード：9416

2025年8月8日

- ▶ 先行投資325百万円（PL計上額）を吸収し、営業利益は2,903百万円。
- ▶ 第2四半期（中間期）累計の営業利益は、予想の2,797百万円に対して、進捗率103.8%と順調に推移。
- ▶ 2028年の営業利益100億円達成に向けた、積極的な先行投資を行ないつつ、**過去最高益**を更新。

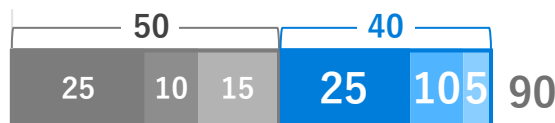
投資額

（百万円）

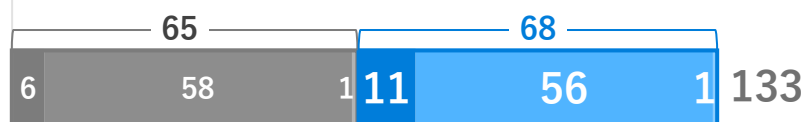
■ 1Q:人件費 ■ 1Q:広告費 ■ 1Q:その他販管費 ■ 2Q:人件費 ■ 2Q:広告費 ■ 2Q:その他販管費

グローバルWiFi
事業

米国ニューヨーク



「World eSIM®」



経理BPO業務



売上高

1Q	2Q
0.3百万円	5.3百万円

1Q	2Q
235.2百万円	206.6百万円

1Q	2Q
9.7百万円	23.5百万円

四半期合計投資額

1Q：165百万円

2Q：160百万円

中間期合計投資額：325百万円

- ◆ 2025年第2四半期（4月～6月）の日本人出国者は309万人。2019年同期比66.9%（462万人）と低調な推移。特に4月は96万人、2019年同月比57.7%（166万人）と大幅な減少。2025年1月～3月は同71.5%、1月～6月は69.3%。第2四半期の落ち込みがグローバルWiFi事業に影響。

		2024年12月期 2Q	2025年12月期 2Q	前年 同期比	中間期累計 業績予想	
		実績	実績	増減率	予想	達成率
売上高		17,021百万円	18,686百万円	9.8%増	18,719百万円	99.8%
営業利益		2,720百万円	2,903百万円	6.7%増	2,797百万円	103.8%
グローバルWiFi 事業	売上高	9,186百万円	9,745百万円	6.1%増	10,392百万円	93.8%
	営業利益	2,753百万円	2,791百万円	1.4%増	2,886百万円	96.7%
情報通信 サービス事業	売上高	7,321百万円	8,136百万円	11.1%増	7,593百万円	107.2%
	営業利益	916百万円	951百万円	3.8%増	891百万円	106.6%
グランピング・ ツーリズム事業	売上高	505百万円	802百万円	58.9%増	722百万円	111.2%
	営業利益	37百万円	63百万円	67.0%増	51百万円	121.8%

売上高

過去
最高

18,686百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

17,021百万円

9.8%増

営業利益

過去
最高

2,903百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

2,720百万円

6.7%増

グローバルWiFi事業

売上高

過去
最高

9,745百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

9,186百万円

6.1%増

セグメント利益

過去
最高

2,791百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

2,753百万円

1.4%増

情報通信サービス事業

売上高

過去
最高

8,136百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

7,321百万円

11.1%増

セグメント利益

過去
最高

951百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

916百万円

3.8%増

グランピング・ツーリズム事業

売上高

過去
最高

802百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

505百万円

58.9%増

セグメント利益

過去
最高

63百万円

2024年
第2四半期
前年同期比

37百万円

67.0%増

連結： 積極的な先行投資を行ないつつ、過去最高益を更新

◆2028年営業利益100億円達成に向けた先行投資

- 中期経営計画の最終事業年度（2028年）における営業利益100億円達成に向けた先行投資として、ニューヨーク子会社の営業開始、「World eSIM®」事業の拡大。さらに、データドリブンセールスに向けた経理BPO業務を推進するために3拠点を設置し、人材投資を実施。

◆過去最高業績の更新

- 中期経営計画に伴う先行投資を吸収し、売上高18,686百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益2,903百万円（前年同期比6.7%増）と過去最高を更新。

◆全社ストックの進捗

- 2025年予想2,390百万円に対し、51.9%の進捗。

グローバル WiFi事業

◆法人需要の増加

- ・ 2025年第2四半期（1月～6月）の日本人出国者数は660万人と2019年同期の954万人と比較して69.3%と回復は緩やかながら、法人契約が堅調に増加。「法人一括請求申込み登録社数」は2024年第2四半期の60,000件から69,000件へ15%増、「グローバルWiFi for Biz 登録社数」も10,431件から12,669件へ21%増と伸長。この法人件数と無制限プラン選択率の増加にともない、顧客単価は高水準を維持。

◆訪日外国人市場への注力と大阪・関西万博での展開

- ・ 訪日外国人向けWi-Fiレンタルサービス「NINJA WiFi®」や空港カウンターに設置しているSIMカード自動販売機での販売に注力。
- ・ 2025年4月13日開幕の大阪・関西万博では、会場内東・西ゲート広場の2か所にサービスブースを展開。「グローバルWiFi®」と「NINJA WiFi®」ブランドによる、Wi-Fiルーターやモバイルバッテリーのキャッシュレス利用環境整備。世界中からのゲストの快適な万博体験支援と需要獲得。

◆中期経営計画に向けた積極投資

米国ニューヨーク：90百万（内第1四半期：50百万円）、World eSIM®：133百万円（内第1四半期：65百万円）

情報通信 サービス 事業

◆営業力強化と好調な事業展開

- ・ 中途採用を積極的に進めて顧客獲得数の拡大を推進。複数の事業（商品・サービス）や販売チャネルを有効活用することで、外部環境の変化に柔軟に対応し、堅調に推移。特に移動体通信機器の販売事業が好調。

◆ストックサービスによる安定収益

- ・ 自社ストックサービスの拡販注力により、安定的な収益基盤の構築が順調に推移。2025年予想1,630百万円に対して、54.0%の進捗。

◆中期経営計画に向けた積極投資

経理BPO業務：102百万円（内第1四半期：50百万円）

グランピング ・ ツーリズム 事業

◆グランピング事業：既存施設の堅調な推移と新規開発

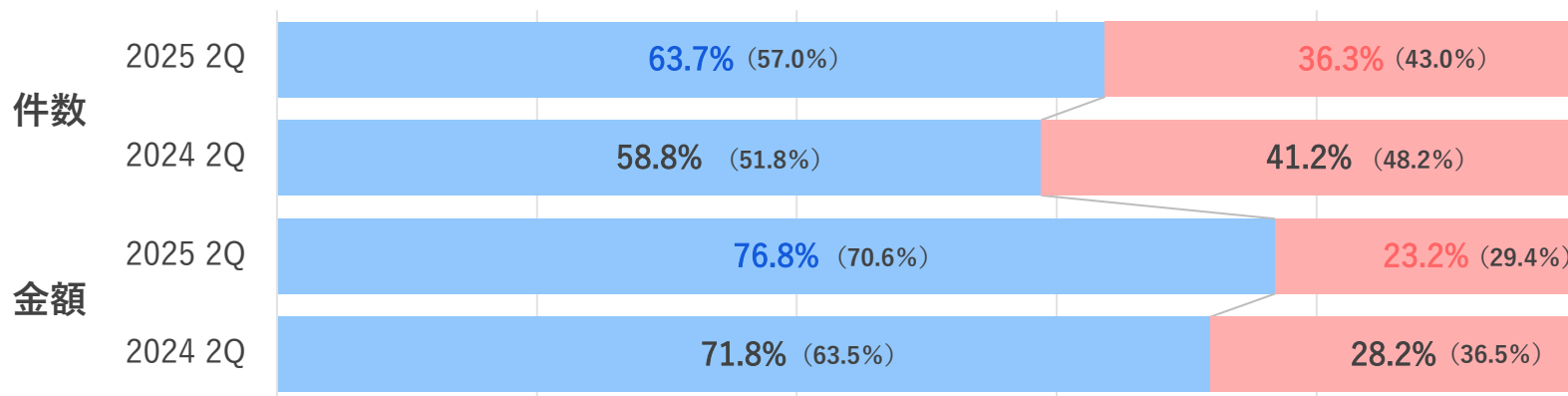
- ・ 「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」と「VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉」は堅調な推移。
- ・ 2027年初旬オープン予定の「VISION GLAMPING Resort & Spa 淡路島」は、兵庫県淡路市岩屋にて建設着工。

◆ツーリズム事業：DMCモデルによるインバウンド需要への対応

- ・ 訪日外国人旅行者（インバウンド）向け観光サービスの提供。急速なインバウンド需要拡大への対応として、単なる手配業務に留まらない、地域の魅力を体験として提供するDMC（Destination Management Company）モデルの高度化に注力。高付加価値旅行の手配をするDMCモデルによりツーリズム事業が順調に成長。

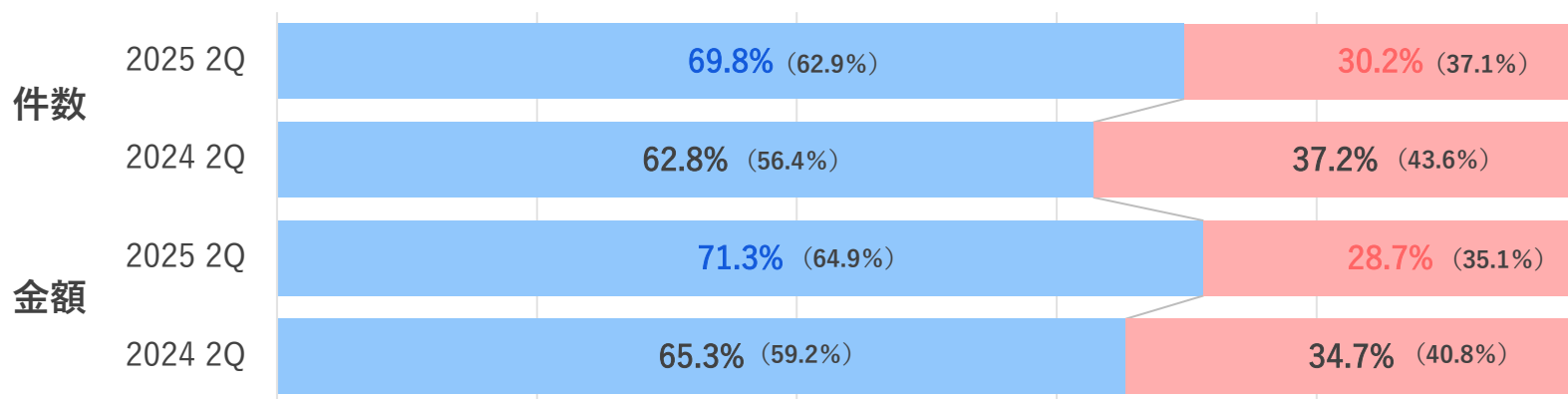
法人・個人

■ 法人 ■ 個人



新規・リピート

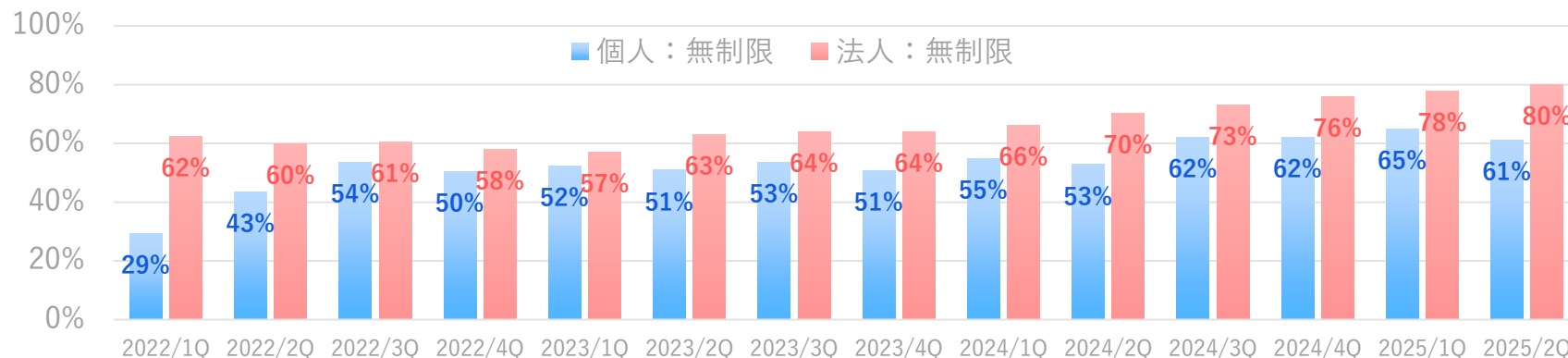
■ リピート ■ 新規



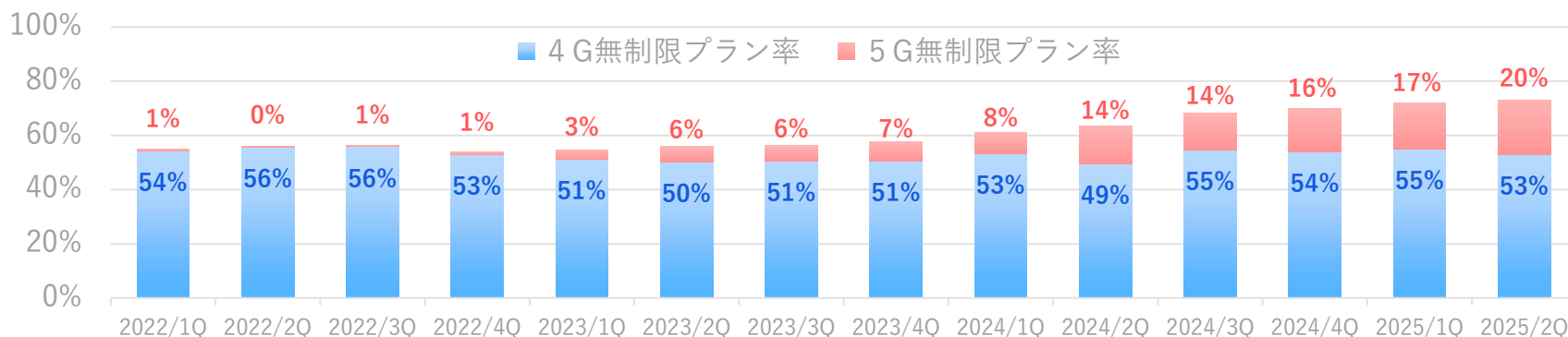
※ () 1Q割合

- ◆ 法人における「無制限プラン」利用率が80%に伸長、5 G選択率は20%へ。
- ◆ ビジネスにおける高速・大容量通信のニーズは、今後ますます高まっていくと想定。

無制限プランの利用率（法人・個人）



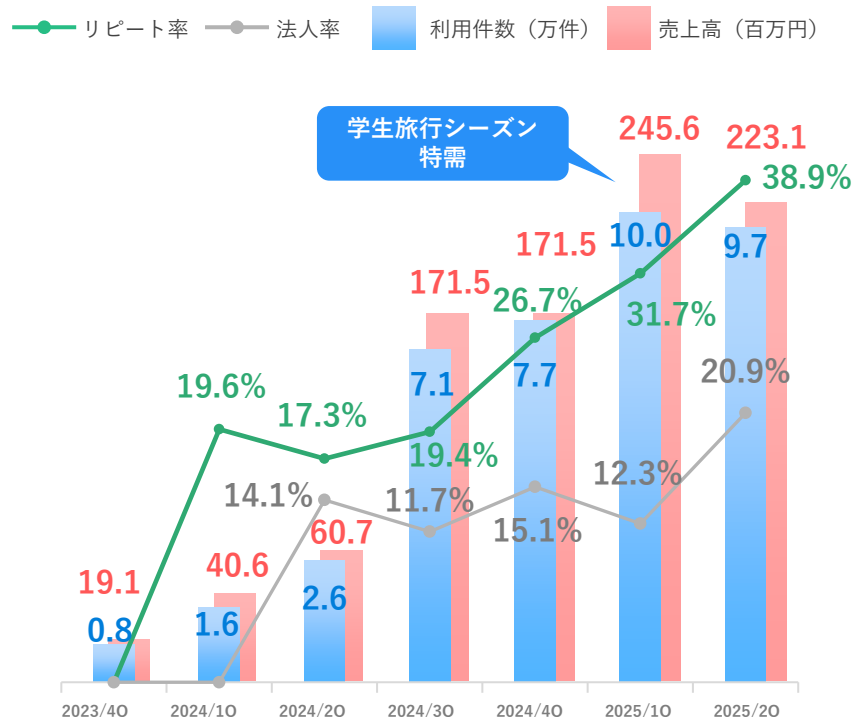
無制限プラン利用率（5 G・4 G）



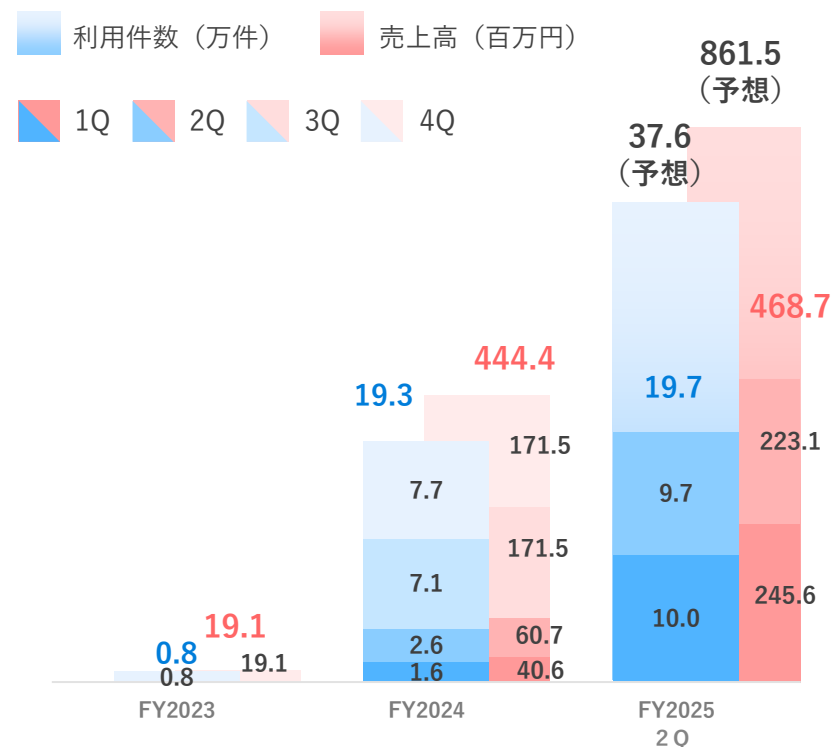
- ◆ World eSIM®の販売を強化。売上高は前年同期比362%増と大幅に伸長。今期業績予想に対する進捗率は54.4%。
- ◆ 2025年第1四半期（1月～3月）の日本人出国者数351万人。続く第2四半期（4月～6月）は309万人で12%減。一方、売上高は同期間で9.2%減で推移。

World eSIM®の売上高・利用件数・リピート率

四半期ごと

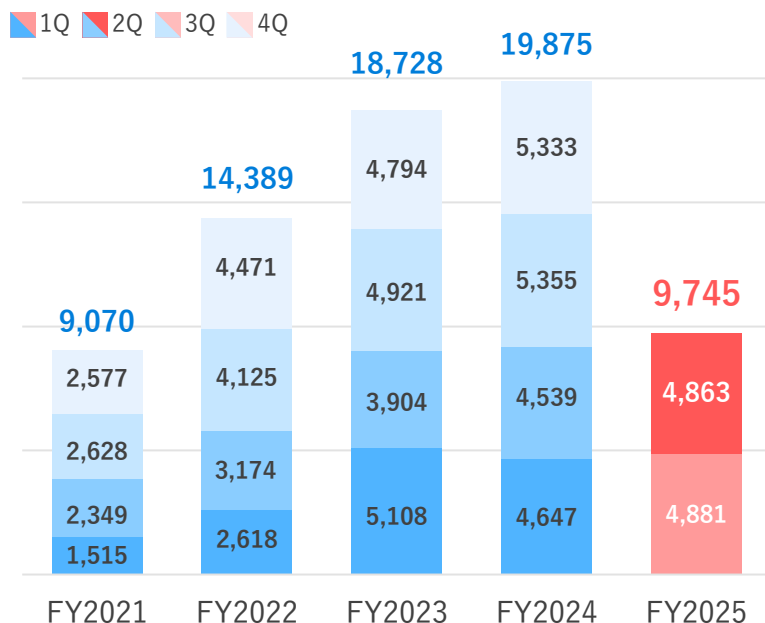


累計



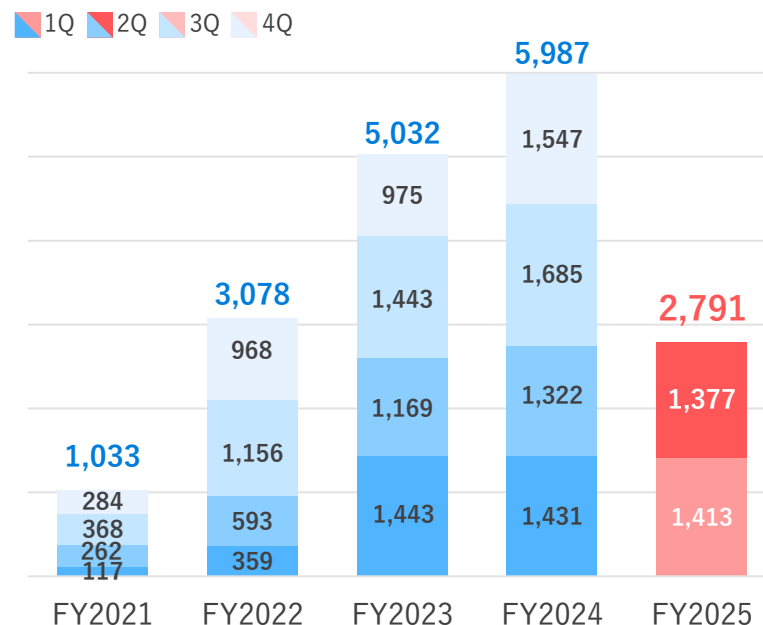
- ◆ 2025年第2四半期（4月～6月）の日本人出国者は309万人。2019年同期比66.9%（462万人）と低調な推移。特に4月は96万人、2019年同月比57.7%（166万人）と大幅な減少。2025年1月～3月は同71.5%、1月～6月は69.3%。第2四半期の落ち込みが全体に影響。
- ◆ 法人需要の増加と無制限プランの選択率上昇により、顧客単価も高水準を維持。
- ◆ 訪日外国人向けの「NINJA WiFi®」や空港カウンターでのSIMカード販売に注力。
- ◆ 米国ニューヨーク、「World eSIM®」へ先行投資を実施。

売上高



セグメント利益

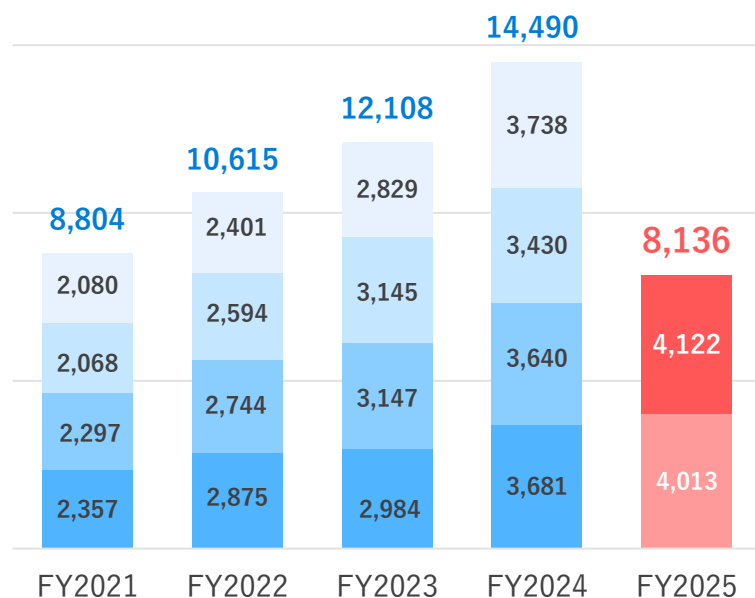
(百万円)



- ◆ 中途採用を積極的に進めて獲得数の拡大を推進。特に移動体通信機器の販売が好調に推移。
- ◆ 自社ストックサービスの拡販に注力した結果、安定的な収益基盤の構築が順調に進捗。
- ◆ 経理BPO業務の拠点展開や人材確保へ先行投資を実施。

売上高

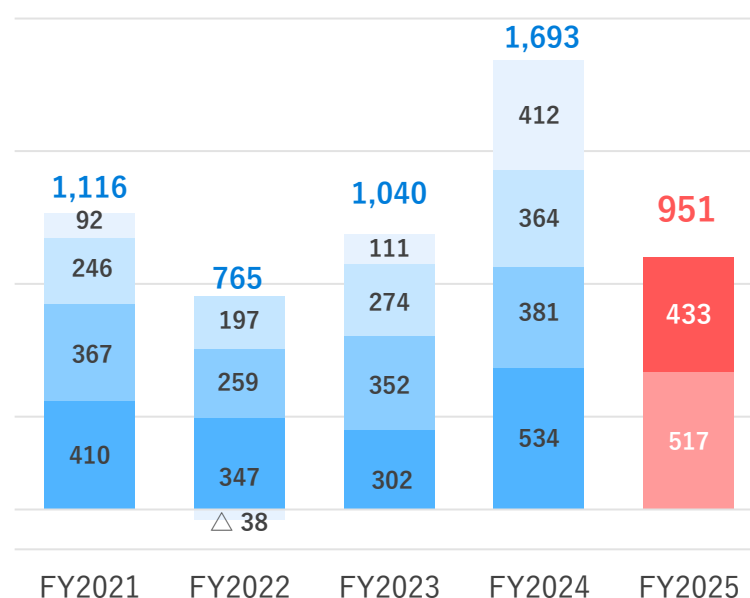
1Q 2Q 3Q 4Q



セグメント利益又は損失 (△)

(百万円)

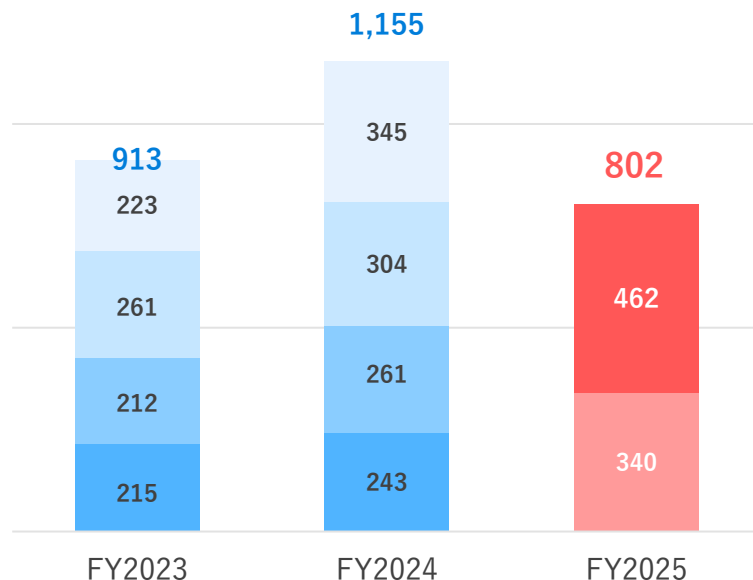
1Q 2Q 3Q 4Q



- ◆ 「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」、「VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉」とともに、順調に推移。
- ◆ 2027年初旬オープンを目指し、「VISION GLAMPING Resort & Spa 淡路島」の建設を着工。
- ◆ 高付加価値旅行の手配をするDMCモデルによるツーリズム事業が順調に成長。

売上高

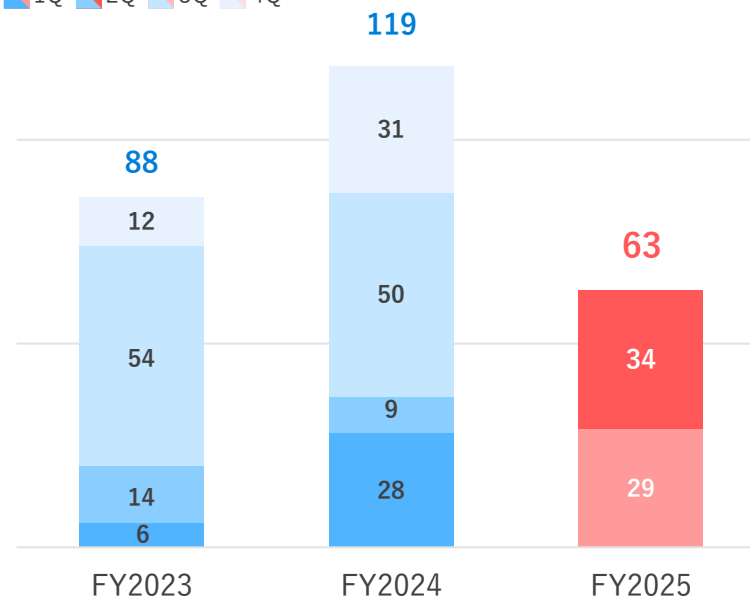
1Q 2Q 3Q 4Q



セグメント利益

(百万円)

1Q 2Q 3Q 4Q



(億円)

2024年：20億円突破



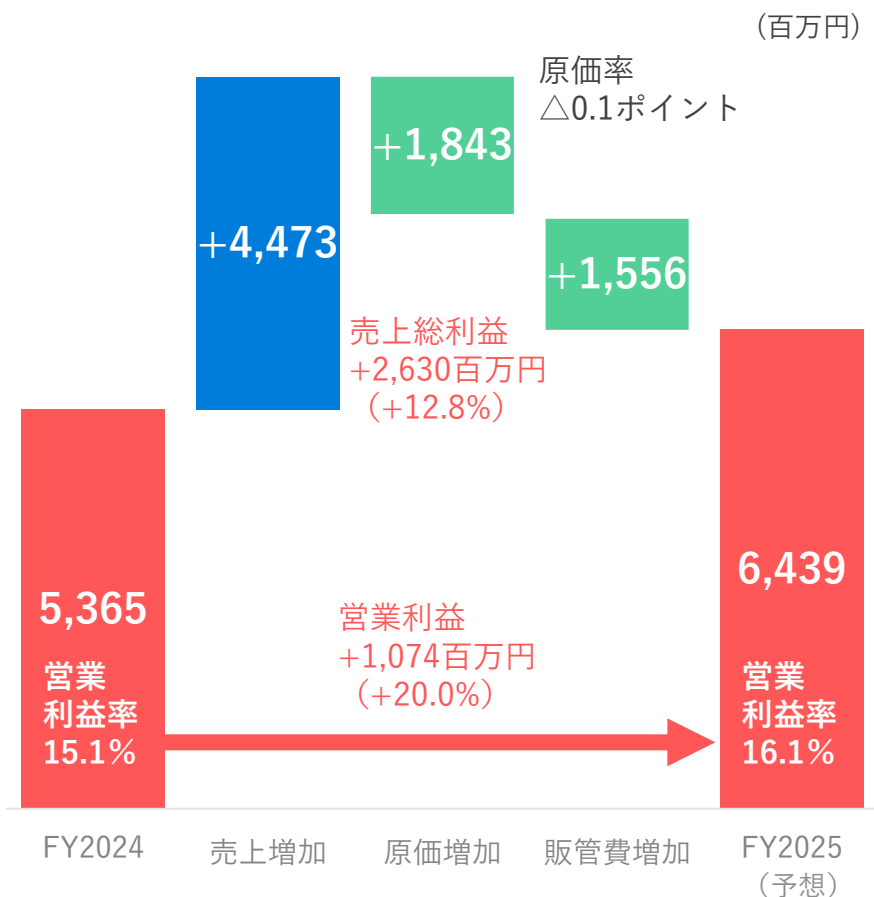
通期業績推移（四半期別推移）



		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期
(百万円)		構成比（対通期）	構成比（対通期）	構成比（対通期）	構成比（対通期）	
2021年12月期	売上高	3,938 (21.8%)	4,706 (26.0%)	4,747 (26.2%)	4,708 (26.0%)	18,100
	営業利益	285 (25.9%)	368 (33.3%)	359 (32.5%)	91 (8.3%)	1,105
	営業利益率	7.3	7.8	7.6	1.9	6.1
2022年12月期	売上高	5,609 (22.0%)	6,019 (23.6%)	6,849 (26.9%)	7,009 (27.5%)	25,487
	営業利益	403 (16.7%)	517 (21.5%)	1,027 (42.6%)	464 (19.2%)	2,414
	営業利益率	7.2	8.6	15.0	6.6	9.5
2023年12月期	売上高	8,347 (26.2%)	7,272 (22.9%)	8,333 (26.2%)	7,853 (24.7%)	31,807
	営業利益	1,382 (32.3%)	1,045 (24.4%)	1,289 (30.1%)	563 (13.2%)	4,280
	営業利益率	16.6	14.4	15.5	7.2	13.5
2024年12月期	売上高	8,581 (24.2%)	8,439 (23.8%)	9,090 (25.6%)	9,417 (26.5%)	35,528
	営業利益	1,524 (28.4%)	1,196 (22.3%)	1,596 (29.8%)	※1,047 (19.5%)	5,365
	営業利益率	17.8	14.2	17.6	11.1	15.1
2025年12月期	売上高	9,237	9,449			
	営業利益	1,501	1,401			
	営業利益率	16.3	14.8			

※株主優待費用4.1億円含む

営業利益率16.1%
(前年同期比約1.0ポイント上昇)



◆2025年前提条件

積極的な投資を含めた営業利益設定

グローバルWiFi事業

- ・為替：1ドル150円設定
- ・海外渡航回復率
通期：81.1% ※2019年自社実績件数対比
- ・プロモーション強化による認知度向上
- ・World eSIM® への投資
- ・ニューヨークの稼働開始

情報通信サービス事業

- ・戦略的なデータドリブンセールスで、スタートアップやベンチャー企業のクロスセル機会を最大化
- ・ストック商材による安定的な収益基盤の構築
- ・BPOサポート強化
- ・中途採用を積極的に進めることで営業力を強化
採用：40名予定

◆設定条件外

積極的なM & Aを通じて事業シナジーを最大化

中期経営計画：経営数値目標



(百万円)

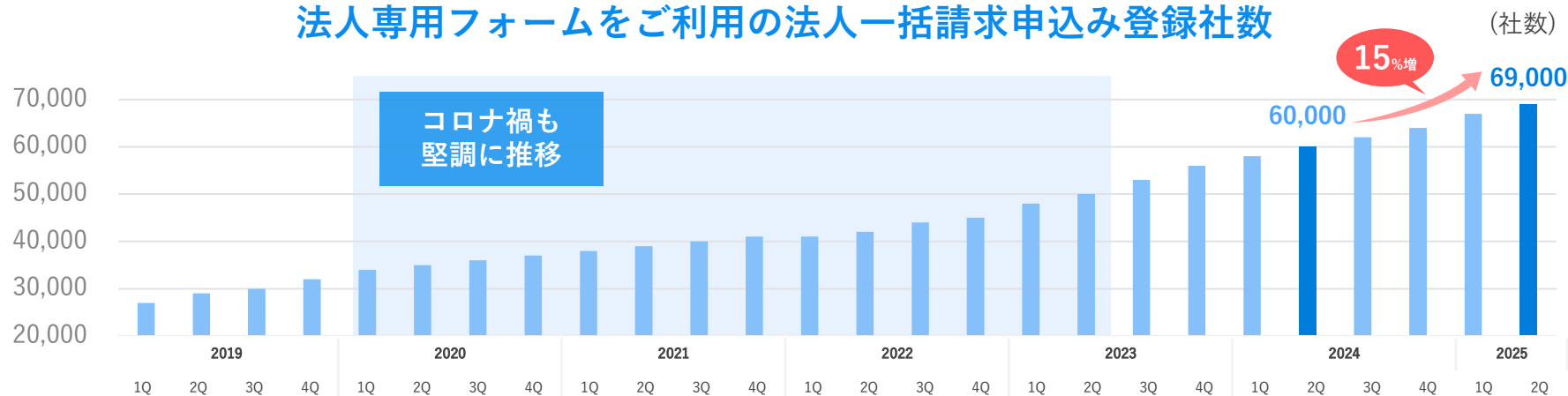
連結業績・資本収益性		2024年度実績	2025年度予想	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
	売上高	35,528	40,002	48,000	55,600	63,400
	営業利益	5,365	6,439	7,500	8,700	10,000
	営業利益率	15.1%	16.1%	15.7%	15.7%	15.9%
	当期純利益	3,375	4,382	5,100	5,900	6,800
	ROE	21.2%	23.3%	23.8%	20%以上	20%以上

株主還元		2024年度実績	2025年度予想	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
	配当性向	38.8%	50%	50%	検討中	検討中

収益力の向上を図るとともに、資本コストを意識した経営を行い、
ROEを20%以上維持し、資本コストを上回るリターンを継続的に創出することを目指します。

- ◆ 2025年第2四半期（1月～6月）の日本人出国者数は660万人と2019年同期の954万人と比較して69.3%と回復は緩やかながら、法人契約が堅調に増加。「法人一括請求申込み登録社数」は2024年第2四半期の60,000件から69,000件へ15%増、「グローバルWiFi for Biz 登録社数」も10,431件から12,669件へ21%増と伸長。この法人件数と無制限プラン選択率の増加にともない、顧客単価は高水準を維持。

法人専用フォームをご利用の法人一括請求申込み登録社数



グローバルWiFi for Biz 登録社数



米国（ニューヨーク）子会社設立

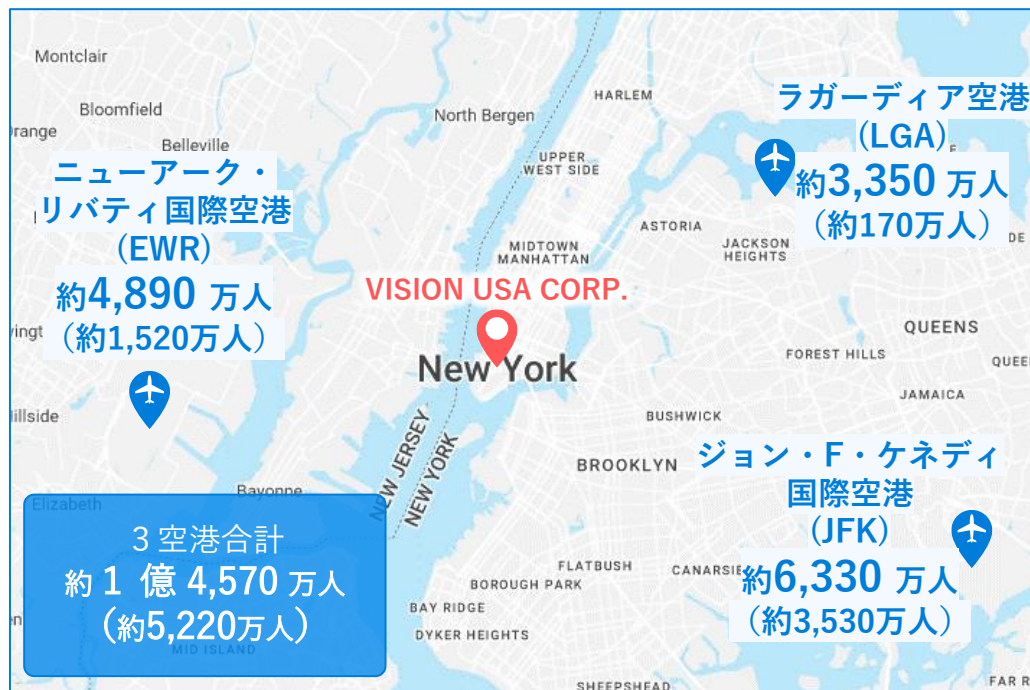
「第3ステージ：グローバル（海外から海外）展開」を加速させるため、米国（ニューヨーク）に子会社を設立。
2025年3月より、営業開始。

新規設立子会社の概要

商号	VISION USA CORP.
所在地	200 Broadway 3rd Floor, New York, NY 10038
事業内容	グローバルWiFi事業
資本金	30万U S ドル
設立年月日	2024年6月
決算期	12月
大株主および持分比率	当社100%
営業開始日	2025年3月

ニューヨーク主要3空港 2024年旅客数

※括弧内は国際線利用者



The Port Authority of New York and New Jerseyより、当社作成

合併会社「株式会社ビジョンライズ」 設立に関するお知らせ



当社グループは、通信分野・再生可能エネルギー分野を融合したサービス展開の一環として、株式会社光通信の連結子会社である株式会社H-Powerホールディングスとの連携による販路拡大を図り、両社の企業価値を高めることを目的として、合併会社の株式会社ビジョンライズを設立することといたしました。

ビジョンライズにおいては、当社グループの通信分野およびスタートアップ企業における強みと、H-Powerホールディングスのエネルギー分野における強みを融合させ、オフィス・店舗をはじめ、医療・介護施設、ホテル・旅館などを対象に、両社の既存顧客基盤を活かしつつ、新規マーケットへの展開も視野に入れ、通信サービスとエネルギーサービスを組み合わせた持続可能なインフラ提供を推進してまいります。

2025年6月2日のリリースは[こちら](#)

Webカメラレンタルサービス「VWS Cam」をリニューアル

VWS Camに新たなラインナップ登場！



リニューアルした「VWS Cam」は、録画データのクラウド保存に対応したことで物理的な録画機器が不要となり、盗難・故障によるデータ消失リスクを軽減しつつ、インターネット環境があればどこからでも映像を確認できる環境を実現しました。

本サービスは、防犯対策や遠隔地のモニタリング、接客状況の確認、業務効率化やトラブル防止など、業種・業態を問わず幅広い事業者さまにご活用いただいております。

<https://cam.vws-biz.com/>

2025年8月1日のリリースは[こちら](#)

配当方針

当社グループは、財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社グループを取り巻く事業環境を勘案して、株主に対して安定的かつ継続的な利益還元を実施していくことを基本方針といたします。この方針に基づき、持続的な成長に向けた戦略投資を最優先とし、企業価値の最大化を図る一方で、資本コストを意識しながら資本効率を高め、安定的かつ持続的な配当の実施と株価形成に繋げていくことを目指し、配当性向30～40%を目安といたします。

また、自己株式の取得・消却につきましては、資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るために、適切に実施してまいる所存です。剰余金の配当は、期末配当の年1回もしくは中間配当を含めた年2回の配当を行うこととし、配当額の決定機関は取締役会であります。

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
2024年12月期	13円00銭	14円00銭	27円00銭
2025年12月期	20円00銭		
2025年12月期（予想）		25円00銭	45円00銭

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

お問い合わせ： IR部 ir@vision-net.co.jp



世の中の情報通信産業革命に貢献します。